

委員 名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇 条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渡邊 創 1	産業標 準案作 成経過 報告書	5-(1)【必要 性】		ed	同じ内容が重複していたり、「この規格の基… 25010…」という表現は、その一部が本規格の基 になっているのは事実であるが「ISO/IEC 25019:2023 を基に」(IDT)であることが分かりに くくなっている印象を持った。	X 25002 の【必要性】第 3 段落と同じように経緯 を述べ、X 25019 の【必要性】第 1 段落の第 3 文 以降の新たに追加された内容を説明するのは如何 か？	X 25002 の 5.1【必要性】 を記述の構造に整合させ て、X25019 の【必要性】 の要点の記載を反映して改 良しました。 段落構造を X25002（新規 制定）の記載と整合したた め、元の文章構成から記載 位置が変わった箇所があり ますが内容は同じです。 X25019 も新規制定であ り、X25002（新規制定） の記載と似た論旨展開とし て、読者に理解しやすくし ました。 第 1 段落 X25002 第 1 段 落の記載参考に、X25019 内容で整えました。 第 2 段落 3 規格共通の記 述の為、X25002 第 2 段落 の記述を入れました。 第 3 段落 X25002 第 3 段 落の表現に合わせ、25019 の内容で微修正しました。 ==== 【必要性】 この規格は、ISO/IEC 25019:2023 を基に制定し ており、システム及びソフ トウェアの利用時品質モデ ルを規定し、システム及び ソフトウェアの効果や影響 範囲を直接利用者だけでな く、組織や公共及び社会全

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

委員 名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇 条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							<p>体まで拡張している。</p> <p>SQuaRE ファミリーは、品質管理、品質モデル、品質測定、品質要求及び品質評価の各部門からなる国際規格として整備されている。これらの国際規格は、顧客、利用者、開発者、そのシステムにより影響を受ける他の人々など多くの利害関係者にとっての情報システム及び IT サービスの価値を確実にするための手段を提供する。我が国においてもこれらの国際規格との整合を図った JIS 化が進められてきている。</p> <p>ICT 業界で既に非常に多く利活用されている ISO/IEC 25010:2011（対応する JIS は JIS X 25010:2013）は、2023 年に改訂され、品質モデルの概観及び利用法に関する事項を ISO/IEC 25002:2024 へ移行し、製品品質モデルに関する事項を ISO/IEC 25010:2023 で引続き規定し、利用時品質モデルに関する事項を ISO/IEC 25019:2023 へ移行することで、旧 ISO 規格は置き換えられた。そのため、国際規格との整合化の観点、及び技術の実態に即した内容にするため、これら 3 つの国際規格に対応す</p>

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							る JIS を同時期に制定・改正する必要があり、この規格も制定する必要がある。
相菌 1	431	3.2.3.1		ge	experience の訳語「経験保有性」がやや難解。 「審議中問題となった点」の記載から「副特性名としての分かりやすさ」を優先したと思われるが、日本語として難解ではないか。原文において特性名・副特性名が「～bility」である必要はないようである。初見においては「エクスペリエンス」あるいは「経験」のほうが受け入れやすいように思われる。	定義を読めば「経験保有性」の意味が理解できるため、特に修正は必要ないと考える。 翻訳の課題であるが、今後ファミリー規格の制定/改定においては、規格の完成度と読みやすさのバランスをよりご考慮いただけるとよいと思う。	システム品質・ソフトウェア品質を捉える場面での一般用語「経験」を詳細化した結果、副特性名「経験保有性」としています。今回、本文の訳は変更しません。 今後の SQuaRE ファミリー規格の改定において国内動向及び関連規格動向を確認して、必要があれば改善を検討します。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。